難民アシスタント ___養成講座



改正入管法、外国人労働者、収容問題 日本に逃れてきた人々

最近、よく耳にする「難民」という言葉 近くて遠い「難民」

今回で40回を迎える難民アシスタント講座は 難民について知り、一緒に考える講座です



開催概要

【日時】

2019年9月21日(土)9月22日(日) 午前10時~午後5時30分

【対象】 難民問題に関心のある方、2日間参加できる方

※ 過去の講座では、学生、会社員、主婦、国連関係者など 幅広い層からのご参加をいただいております。

【参加費】15,000円(学生10,000円)

【場所】 明治大学リバティタワー1階 1011教室 (東京都千代田区神田駿河台1-1)

【応募締め切り】 <u>2019年9月15日(日)</u>

【主催】 認定NPO法人難民支援協会(JAR)

【共催】 国際協力人材育成プログラム (明治大学、立教大学、国際大学)

(URL) https://refugees.jp/assiyou201907

プログラム

※以下に加えてビルマ出身の難民の方に ご登壇いただきます。どうぞお楽しみに!



1. イントロダクション

野津美由紀 JAR 広報部 チームリーダー 大学在学中からJARの活動に生活支援担当インターンとして携わる。卒業後、一般企業 (IT)での勤務を経て、2013年4月から現職。

2. 国際的な難民保護基準と日本の難民保護制度

東京大学(学士,修士号取得)、オックスフォード大学 (修士号取得)などで国際難民法を学び弁護士になる (東京弁護士会所属,マイルストーン総合法律事務所)

駒井知会 弁護士





3. 日本での難民支援の現状 - 生活支援の実務

新島彩子 JAR 支援事業部 マネージャー 2001年にアフガニスタン出身の難民申請者 一斉収容をきっかけに、JARの生活支援ス タッフとして勤務。2016年12月より現職。

4. 日本の移民政策を考える

博士(国際政治経済学/筑波大学)。主な著書として 『入国管理政策:「1990年体制」の成立と展開』 (2010年, 単著)。内閣官房有識者メンバー(2018年~)。

明石純一 筑波大学准教授





5. 日本での難民支援の現状 - 難民支援協会の実務

石川えり JAR 代表理事 1994年のルワンダにおける内戦を機に難民問題への関心を深め、大学在学中にJARを立ち上げに参加。日本初の難民認定関連法に携わる。2014年12月に代表理事就任。

6. 海外の事例から難民の社会統合を考える

東京大学大学院総合文化研究科博士課程、 ドイツ・ビーレフェルト大学大学院博士 課程修了、Ph.D取得。専門は国際社会学。

久保山亮 立教大学・専修大学兼任講師





7. 難民を取り巻く世界のトレンドと日本

石井宏明 JAR 理事・一橋大学非常勤講師 アムネスティインターナショナル日本、 ぴーすウィンズ・ジャパンに勤務。99年 にJARを立ち上げ、現在に至る。



〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-2 TASビル4階 TEL: 03-5379-6001 E-mail: <u>info@refugee.or.jp</u> Twitter: @ja4refugees Facebook: <u>https://www.facebook.com/ja4refugees</u> (担当:藤代)